学校番号	T3024

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅰ	2	２年次	ECHO English Expression　Ⅰ（三友社）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰで学んだ英文の作り方をもとに、英語の様々な表現方法を広げるための授業である。そのため、自分が発信したい情報を簡潔に整理し、表現する言語活動を多く行う。

・会話に頻繁に用いられるフレーズを学習する。

・音読の際、相手に意味が正確に伝わるような発音を心がけるよう練習する。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【２年次】履修科目：「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・モデルリーディングを真似しながら、大きな声で音読することができる。 ・自分のことについて、SV/SVO の文型の英文で言うことができる。	スピーキングテスト	・自分のことについて、文章を書くことができる。 ・ある人やものの様子、まとまった内容の文章を書くことができる。	定期考査	・身近なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。	スピーキングテスト	・動詞と名詞に注意を払いながら、その内容をとらえることができる。 ・教科書の本文の内容を理解することができる。	定期考査

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Warming Up 1-3 (８時間)	・日本語と英語の語順 ・be 動詞と一般動詞の使い分け ・辞書を引いてふさわしい言葉を選択する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		(本単元では設定しない)	テキストを利用して、相手に自分の言いたいことが正確に伝わる語順や語句の確認をする。	(本単元では設定しない)	
		「外国語表現の能力」			
		・日本語と英語の語順の違いを理解する。	・テキストおよびワークシートを利用し、主語と動詞の位置を把握する。	・日本語と英語の語順の違いを理解している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・辞書を活用して語句の意味を調べる。	・テキストの設問を解き、分からない場合は辞書で調べる。	・辞書を活用して語句の意味を調べることができる。	・定期考査の筆記テストにおいて判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動詞の使い分けと、疑問文や否定文を作成できるようにする。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・動詞の使い分けと、疑問文や否定文を作成できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 1-3 (10 時間)	・初対面の相手との会話 ・家族の仕事についてのプレゼンテーション ・将来の夢についてのプレゼンテーション	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとに必要な英語表現をワークシートにメモをし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・自己表現するための英語表現や、文型を活用して英文を作る。	・自己紹介の原稿を作成し、自分があげた物やもらった物、自分を楽しくさせる事、悲しくさせる事についての文をワークシートに書く。	・自己表現するための英語表現や、文型を活用して英文を作ることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料とし、同内容を定期考査の筆記テストで表現出来るかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・初対面の相手との会話や、プレゼンテーションを読んで、内容を理解する。	・テキストの設問を利用し、本文の内容について答える。	・初対面の相手との会話や、プレゼンテーションを読んで、内容を理解することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・第１～第５文型の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・第１～第５文型の使い方を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4-6 (15 時間)	・大学の要覧に書かれている内容について ・部活動についてのプレゼンテーション ・英語でお礼のメールを作成する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、自分の学校について会話をする。	・学校行事や、部活動についてワークシートにメモをし、それを参考にながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、自分の学校について会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・完了形や進行形を活用して、英文を作る。	・部活動の経験の有無や、自分が現在していること、以前にしていたことについての文をワークシートに書く。	・完了形や進行形を活用して、英文を作ることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料とし、同内容を定期考査の筆記テストで表現出来るかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・メールやプレゼンテーションを読んで、内容を理解する。	・テキストの設問を利用し、本文の内容について答える。	・メールやプレゼンテーションを読んで、内容を理解する。	・定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・時制について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・時制について理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 7-9 (15 時間)	・花火大会の広報誌の内容 ・フリーマーケットについての会話 ・自分の住んでいる地域について調べ、学校祭で展示する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、何かの行事に相手と参加する会話をする。	・行事の日程や場所、行事で行われることを調べてワークシートにメモをし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、何かの行事に相手と参加する会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察し、その取り組みについて判断する。
		「外国語表現の能力」			
		・学校や地域での活動や、自分の住んでいる町の自慢について発表をする。	・発表用の原稿を作成する。	・学校や地域での活動や、自分の住んでいる町の自慢について発表をすることができる。	・でき上がった原稿を元に発表をさせ、その取り組み内容について判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・会話文や本文を読んで、書かれている内容を整理し、理解する。	・テキストの設問やワークシートを利用し、内容について答える。	・三人の経験に関する事実と、筆者の考えを区別して聞くことができる。	・ワークシートおよび定期考査の筆記テストにおいて、内容理解ができているかを判断する
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・受動態の使い方を理解する。 ・助動詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・受動態の使い方を理解している。 ・助動詞の使い方を理解している。	・定期考査の筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。